



## 新しい朝が来た

ご存じ『ラジオ体操の歌』（藤浦洸作詞・藤山一郎作曲）の出だしです。この後、「希望の朝だ 喜びに胸を開け 大空あおげ ラジオの声に 健やかな胸を この香る風に開けよ それ 一二三」と続きます。

“新しい朝”にうれしいことに出会うと、その日が幸せな一日になる予感がします。最近、朝の登校風景を見ていると、とても気持ちのいい朝を迎えることができます。1年生を中心に大きなあいさつをしてくれるのはもちろんですが、AKBの「K」もよく守られているからです。

### ◆ 詫中名物一列通行

平成22年度浦島伝説第16号（6.21発行）のタイトルです。当時、大下歯科から中学校までをマナーアップゾーン（タートルストリート）に設定し、一列通行を呼びかけると、ほとんどの人が守ってくれたおかげで、地域の人からもおほめの言葉をいただきました。この一列通行が詫中名物として、自慢できればいいなあと思っていましたが、長続きしませんでした。しかし、今年は再び復活の予感がしています。

### ◆ 黄信号で突っ込む大人 青の点滅で止まる中学生

大下歯科の交差点で、黄信号でも進入する車が目立ちます。香川県は交通マナーがあまりよくないと言われていますが、ここ浦島の里でも同じような光景が見られます。しかし、そんな大人とは違って、中学生は横断歩道の信号が青の点滅になると止まっています。当たり前のことですが、なぜかホッとする光景です。

### ◆ 「上級生が1年生を見守っている姿がとても微笑ましいです」

昨日の朝、いつも大きな犬を散歩させている夫婦に呼び止められ、言われた言葉です。大下歯科の交差点はすぐに信号が変わってしまうので、中学生は集団で渡ります。そのため、渡り終えた所が混雑するうえにそこが坂になっているため、慣れないと転んでしまう恐れもあります。それを心配した上級生が1年生を先に行かせたのでしょう。後輩を思いやる先輩の姿は、きっとこれから先も受け継がれていくことでしょう。



＜交差点を集団で渡る様子＞



＜渡り終えた所で譲り合う様子＞



＜徐々に一列になりつつある様子＞

ここで、交通ルールについて、いくつか確認しておきます。

自転車は、基本的には車道を走らなければなりません。歩道を走るのはダメです。しかし、歩道に「自転車および歩行者専用」の標識がある所は、自転車も通ることができます。右の標識は、ちょうど大下歯科の交差点にあります。詫間駅から中学校に向かっている歩道にはこの標識があり、自転車が歩道を走れるのはここまでということです。ちなみに、歩道を走る場合は、車道寄りを徐行しなければなりません。また、自転車にも下のような罰則があることも覚えておきましょう。



- ◆3か月以下の懲役か5万円以下の罰金 → 信号無視・指定場所一時不停止・踏切不停止・右側通行
- ◆5万円以下の罰金 → 無灯火・傘差し・携帯電話の使用・ヘッドホンの使用
- ◆2万円以下の罰金か料 → 並進・二人乗り

交通ルールやマナーを守って、いつもさわやかな希望の朝を迎えられることを祈っています。